

# 保健福祉 保育制度の充実

**問** 幼稚園の預かり保育の延長について、市としては午後8時まで行うことが適切だと考えているのか。また、県補助金の期間終了後も市の施策として推進するのか。

**答** 昨年度から市独自の預かり保育補助として、午後5時までの延長保育を行う幼稚園に対して補助金を支出している。今回の預かり保育の延長は、日中の教育時間を除いた午前7時から午後8時まで延長するものである。現に午後7時30分まで実施し、数十人が利用している幼稚園もあるため、子育て支援事業として、市民ニーズはあるものと考えられる。また、今回の補助金は、県の基金事業期間3年が終了した後も、引き続き各園の実施事業とすることを条件とするため、事業を受託する園については、4年目以降もこの事業を実施していくこととなる。

## 新型インフルエンザ

### 感染防止に向けた保健所や市立病院の対応

**問** 保健所には既に発熱相談センターが設置されているが、今後新型インフルエンザ感染が市内に蔓延してきた場合、千葉県の対応マニュアルでは、柏市において発熱外来を20から40カ所設置するのが望ましいとされている。その場合どのように設置するのか。また、人員の確保は。

**答** 本市では、国や県の指示を踏まえて発熱外来の設置を準備しているところである。公共施設に設置する場合としては、保健所や保健センター、学校、公民館、近隣センターなどを想定して検討をしている。従事者としては、医師会や薬剤師会に医師や薬剤師の派遣をお願いするほか、市の看護職員や事務職員等で対応する予定である。



新たに開園した私立保育園

**問** 新型インフルエンザは妊婦や人工透析をされている方に感染すると症状が重篤化する。

**答** 今回の要介護認定方法の変更には経過措置があり、4月から新しい方式で従前の要介護度と異なる判断が出て、本人が希望すれば従前の介護度とすることができ、経過措置の期間は、厚生労働省での検証が終了するまでの間とされ、期日は明示されていない。市としては、被保険者の不利益とならないよう留意しながら対応したい。また、経過措置終了後については、厚生労働省の通知に基づいて適切に対応していきたい。

された人や軽度になった人についてはどのような対応をするのか。また、経過措置を国が打ち切った場合はどのように対応するのか。

# 教育 市立かしわ幼稚園の存続を

**問** 3月の議会で、市立かしわ幼稚園の発展的な存続を求める請願が採択されたことを受け、再度教育委員会に請願が提出されたが、不採択となった。今後、市立かしわ幼稚園の発展的な存続も含めた協議を進めていく必要があるのでは。また、市立かしわ幼稚園は、私立にはなじめない子供も受け入れることのできる貴重な幼児教育の場であり、市立として存続させるべきではないのか。

**答** 話し合いの場が市立幼稚園の存続を前提とした内容であったため不採択とせざるを得なかったが、今後も意見を聴く機会を持つなど、誠実な対応を図っていく。教育委員会の考えとしては、市立かしわ幼稚園を廃園とし、その人材、施設、費用等は市全体の



市立かしわ幼稚園

子供の最善の利益のために活用していく方針である。  
**問** 夢をはぐくむ教育を充実させていくことが必要と考え、活力ある若者を育成するために、今後どのように取り組もうと考えているのか。  
**答** 働くことや将来に夢を持つような教育については、

各学校で現役スポーツ選手を招いて講義をしてみようなど工夫して取り組んでいる。これからの、各学校において子どもたちの夢をはぐくむ教育がより充実するよう、関係団体と連携していきたいと考えている。

**問** 新中央図書館の立地を予定する柏駅東口D街区第一地区の周辺には、複数のパチンコ店やゲームセンター等が営業しており、図書館と同じビル内に入る可能性がある。これで子どもを含めたすべての市民が、安心して図書館を利用できると言えるのか。  
**答** 柏駅東口D街区第一地区は商業地区であり遊戯施設等が多くあるが、それだけで不適切であるということにはならない。周辺の施設については配慮するべきことではあるが、事業コンセプトが人と情報、人と人をつなぐということであり、諸活動を効果的に行えるということを重視した。

**問** 今回の期末、勤勉手当の引き下げは、人事院の臨時勧告準拠という形で実施することだが、人事院の調査結果から導かれた勧告の引き下げ率は妥当なものか。  
**答** 4月に行われた人事院の特別調査は、人事院の見解においても直ちに全産業を代表するものとは言いにくく、支給実績調査でないこと等から不確定要素があるなどと考えられている。しかし、企業ベース

## 平成21年第1回臨時会

臨時会が5月29日に開催され、市長提出の2議案と議員提出の1議案を審議し、いずれも原案のとおり承認・可決しました。以下、本会議での議論の一部をお知らせします。

**▼専決処分（市税条例等の一部改正）**  
**問** 長期優良住宅の普及促進に関する法律の施行日の6月4日から平成22年3月31日までに新築された認定長期優良住宅に対する固定資産税を減額とあるが、期間が1年も少ない。国への要望を含め、継続に向けた今後の市の対応は。  
**答** 残り10カ月で着工し完成というところで、日程的には厳しいと感じるが、例年年末に

向けて税制改正論議等がされている。この議論の動向を注視しながら、必要な場合には国等へ働きかけていきたい。  
**▼特別職員給与と条例等の一部改正**  
**問** 今回の期末、勤勉手当の引き下げは、人事院の臨時勧告準拠という形で実施することだが、人事院の調査結果から導かれた勧告の引き下げ率は妥当なものか。  
**答** 4月に行われた人事院の特別調査は、人事院の見解においても直ちに全産業を代表するものとは言いにくく、支給実績調査でないこと等から不確定要素があるなどと考えられている。しかし、企業ベース

**問** 今回の減額によって生じる財源をどのように活用するのか。  
**答** 今回の措置による影響額は一般・特別会計合わせて約2億5000万円と見込んでいるが、あくまで暫定的で夏の人事院勧告を受け年内に確定させる予定である。したがって、その時点で必要とされる施策や財政状況等を考慮し、適切に判断していきたい。

## 質問者と質問項目

※紙面の都合上、1人3項目に限り掲載しています。詳しくはインターネット録画像をのぞいてください。

山田一

景気対策への市の対応  
乳幼児医療費助成を中学生まで母子自立・貧困と教育格差社会

宮田清子  
柏駅再開発事業の資金計画  
公設市場移転の土地先買い  
新介護認定制度の問題点

渡部和子

無届けの高齢者住宅の改善  
特定疾病見舞金削減を問う  
北柏隣接の墓地建設中止を

永野正敏  
市長選挙について  
広報戦略について  
危機管理について

塚本竜太郎

柏市プレミアム商品券  
難病対策  
信号機の設置

平野光一  
風俗店が囲む図書館の是非  
失業者の国保料減免促進を  
仕事起こしと住宅改修助成

高城早苗

幼児教育・福祉について  
新型インフルエンザについて  
がん対策について

小松幸子  
保育園待機児童解消  
学校施設のICT化推進  
がん予防

松本寛道

職員の意識・行動の改善  
情報公開の問題点  
大型墓地への対策の遅れ

小島晃治  
職員の危機管理の意識づけ  
柏駅東口D街区再開発事業  
県事業332号線早期着工

村田章吾

行革・広域連携と経費削減  
医療・在宅医療の支援促進  
介護・医療・介護連携促進

佐藤尚文  
下総基地の民間空港化  
小中学校の適正配置  
東町学園入口交差点改良

本池奈美枝

市立かしわ幼稚園の存続  
柏中学校体育館の建てかえ  
介護保険の新認定の問題点

市村衛  
地元企業の育成と市税の確保  
市立幼稚園のあるべき姿  
柏市公設市場の活性化対策

日下みや子

国民が求めている経済対策  
いつでも入れる保育所へ  
高校進学希望をかなえて

林 伸司  
インターネット予約  
新型インフルエンザ対策  
子育て支援パスポート事業

助川忠弘

政令指定都市について  
夢をはぐくむ教育について  
災害時近隣センターの役割

上橋 泉  
大室地区解決で有終の美を  
開発事業等公開条例  
就職氷河期の若者の雇用

小林敏枝

政令指定都市移行の調査  
市立かしわ幼稚園・樹木葬  
農業政策と農家への支援

武藤美津江  
核兵器廃絶を求めて  
安心の生活保護行政へ  
高柳駅にエレベーターを

